

## 平成 17 年度第 3 回（6 月）理事会議事録

日 時：平成 17 年 6 月 9 日（木）午後 6 時 35 分～8 時 50 分

会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所

出席者：森嶋、今井、辻、吉本、運天、高田、竹浦、清水、岡本、荒木、田畑、井戸田、北中、出野、山田、東野、田中、

欠席者：大垣、高橋、山内

議 長：森嶋

### 討議内容

#### ・ 行動報告（5 月分）

別紙参照

#### ・ 経過報告

### 1. 日臨技

#### 総務関連

- ・ 平成 17 年度第 1 回定期総会（決算総会）を 3 月 26 に日開催した。
- ・ 第 54 回日本医学検査学会を 5 月 12、13 日に開催し参加者数 4,524 名であった。
- ・ 「危機管理ガイドライン」がまとまったので、200 部作成し、各都道府県技師会に配付することにした。
- ・ 「日臨技総合情報システム運用」及び「個人情報保護」の遵守のための誓約書の提出を依頼することにした。

#### 学術関連

- ・ 「平成 17 年度日臨技臨床検査精度管理調査」申込施設が 3,044 件で過去最高申込数になった。
- ・ 第 54 回日本医学検査学会において認定一般検査技師制度についてのミニシンポを開催した。
- ・ 平成 17 年 11 月 19 日に開催される第 52 回日本臨床検査医学会総会で日臨技との共催シンポジウムとして「生理機能検査における最近の動向」が設定される予定。
- ・ 都道府県精度管理責任者全国会議を平成 17 年 10 月 30 日に日臨技会館で開催する予定。

#### 渉外関連

- ・ 医学検査デー及び関連事業を対象とした規定で AED 講習会を関連事業に位置づける。
- ・ 認定一般検査技師制度構築について、会員からの意見聴取手段として日臨技ホームページを採用する。
- ・ 女性技師部会を設置し構成委員を承認した。
- ・ 日本磁気共鳴専門技術者認定機構委員会委員の MR 専門技師認定機構・更新制度検討委員会へ植田隆史（奈良県）、木村仁美（大阪府）が選出された。

#### 国際関連

- ・ 第 2 回 AAMLS 学会へ役員 14 名、国際部外部委員 4 名、職員 2 名、フォーラム演者 1 名の参加登録を終了した。
- ・ 平成 17 年 5 月 13 日に国立京都国際会館で日韓代表者会議、日韓功労者会議を行った。

### 2. 近臨技

- ・ 6 月 8 日に理事会を開催した。

### 3. 事務局

#### 総務部（庶務）

- ・ 大臨技名簿再発行に関して検討した。
- ・ 17 年度第 1 回定期総会の開催準備を行った。
- ・ 賛助会員への対応について検討した。
- ・ 大阪府庁提出用書類を作成した。

#### 総務部（会計）

- ・ 4 月度収支計算書を作成した。
- ・ 平成 16 年度会計監査を行った。

#### 総務部（広報）

- ・ 大臨技ニュース 6 月号を作成した。
- ・ 大臨技会報の発行準備を行った。
- ・ ホームページへの理事会議事録掲載を準備した。
- ・ ホームページを更新した。

#### 渉外部

- ・ 5 月 17 日に部会を開催した。
- ・ 定期総会での部員役割を確認した。
- ・ 部会における部員役割を調整した。
- ・ 7 月 2 日（土） 難波グリーンガーデン（10：00～16：00）にて献血活動を実施する。

### 4．事業局

#### 情報組織部

- ・ 5 月 19 日に部会を開催した。
- ・ 6 月 11 日の情報組織部研修会について開催準備を行った。

#### 地区事業部

- ・ 5 月 19 日に部会を開催した。
- ・ 大阪市健康展（ヘルスジャンボリー）への参加項目について再検討した。
- ・ 施設連絡者会議（6 月 4 日）の開催準備と同日実施の障害保険説明会の開催準備を行った。会当日の参加者は 59 名であった。

#### 学術部

- ・ 5 月 20 日に部会を開催した。
- ・ 近畿医学検査学会の準備委員会を開催した。
- ・ 他、報告

#### 1．厚生労働省主管の細菌部門研修会への派遣者について

感染・免疫検査部門長（兼、ICT 部会長）の関西医科大学病院・中村氏へ一任した。

#### 2．臨床検査医学会近畿支部との合同会議について

第 1 回同時開催（平成 17 年、滋賀県）は基本合意に基づいて開催することを再確認した。

協議会は臨床検査医学会で承認後に発足される。協議会の方向性として、2 つの学会を解消し新しい学会として同時開催から合同開催へ向けて検討していく。

今年度に限り、検査所協会近畿地区臨床検査大会も同時開催することとした。

今後の学会予定は 18 年度 10 月 21 日・22 日：福井県、19 年度 11 月 24 日・25 日：大阪府にて担当する。

理事及び学術担当者の協議会案についての意見は 7 月末までに辻副会長宛メール送付。

#### 3．「看護の日」協力事業について

5 月 12 日・13 日に開催した。SMBG に 285 名、尿検査に 88 名の参加者を得た。18 年度も実施の予定。

#### 4．日臨技 JAMTIS 研修について

5 月 14 日に JAMTIS 運用説明会があり、個人情報保護法に対応した「JAMTIS 利用規約」等のガイドラインを設け実務権限者から誓約書を取るようになった。学会支援システムにおいては多数の会員からの要望に応じ、抄録中に特殊文字が使用可能となるように Word 添付ファイル方式に改良された。

#### 5．日臨技総会について

5 月 12 日に森嶋、辻、荒木の 3 名が参加した。法改正の付帯審議の説明があった。

#### 6．堺市精度管理委員の変更について

朝山氏から林氏（阪大）に変更した。

#### 7．近畿臨床衛生検査技師会の名称変更について

8. 6月8日付けで近畿臨床検査技師会に変更された。
9. 大阪府地域推進医療協議会が開催され大阪府及び大阪市に対し18年度予算への要望項目が審議され、看護協会から看護体制の整備・充実ならびに訪問看護ステーション協議会設立推進の要望がなされた。

#### ・議題

1. 職員職務規程（就業規則・給与規則）について  
パート職員の取り扱いについては別規定で定める。一部を修正することで承認された。
2. 個人情報保護法施行の対応について  
役員及び各部世話人全員から誓約書を取る。各部の担当役員は8月理事会開催日を期限とし辻副会長宛に提出する。個人情報保護に関わる各作業手順書および検証確認書等が提出され承認された。会員名簿における自宅会員の住所の記載については特に申告のない限り掲載する。当案件に対する意見書は辻副会長宛に提出する。
3. 薬剤師会、栄養士会との合同事業について  
5月12日に大阪府薬剤師会において3団体合同事業について懇談会（当会から森嶋会長、辻副会長、出野理事が出席）を行い、合同事業として府民を対象とした公開フォーラムを開催することで合意した。名称は「21世紀の薬と栄養フォーラム大阪2005（仮）」を提案されたが、名称中に「検査」の文言を織り込むことを再度要請することとする。会場と日程を薬剤師会に一任した結果、期日を平成17年11月26日（土）の午後、会場を大阪市中央公会堂、主催団体を大阪府薬剤師会・大阪府栄養士会・大阪府臨床検査技師会、参加対象を健康に関心がある府民と主催団体会員、とし500名程度の参加を想定して準備する。内容は2部構成とし、第1部は講演形式で著名な文化人に依頼とし、第2部は3団体から講師を推薦してパネルディスカッションとし、大臨技は前理事の近藤氏を推薦する。6月末から渉外部を含めて実務会議を開催する予定。
4. その他
  - ・第47回近畿医学検査学会の準備について準備委員会報告があり、開催日程及び予算について継続的に審議する。
  - ・日臨技の地区連絡会議が9月第1土曜日に開催されるので役員は来年度の日臨技活動等、日臨技への要望項目を7月末日期限として辻副会長宛に提出のこと。
  - ・定期総会の参加者数増員を目的とし、他事業との同日開催を検討課題とする。
  - ・各部の会計処理統一化を目的に、次回理事会開催前（PM6:00～6:30）に会計事務所担当者を講師として会計処理説明会を行う。参加対象は各部担当役員及び必要な各部会計担当部員とする。

以上